

令和5年春の叙勲

瑞宝単光章



吉田 壯六 さん ㊦北の又

昭和48年に志津川消防団に入団し、以来49年の永きにわたり率先してその職務を遂行されました。合併後の平成21年から南三陸町消防団副団長を務め、令和4年に退団されるまで、町の消防力の強化と災害防除に寄与されました。

旭日単光章



佐藤久一郎 さん ㊦新井田

永きにわたり林業を経営し、平成22年から令和4年までは南三陸森林組合代表理事組合長として持続可能な森林経営を目指し、その職務を遂行されました。東日本大震災後は、南三陸杉のブランド化の確立を目指し、宮城県初のFSC国際認証を取得するなど、地域林業の振興に寄与されました。

自然環境活用センター 初夏の特別講座



講師紹介

おくのじゅんじ
奥野淳兒

千葉県立中央博物館分館 海の博物館
主任上席研究員

拝啓ヤドカリ様ーあなたのヒミツを伺いますー

「いったいヤドカリとはどんな生きもの？」そんなヤドカリの秘密を詳しくご紹介する講演会を開催します。

今回の講演は、これまで博物館に寄せられたヤドカリに関する質問とその回答内容を紹介しながら、身近な海辺の生きものであるヤドカリについてより深く知っていただくとするものです。千葉県の海沿いの博物館で、長年ヤドカリ類をはじめとした甲殻類の研究や教育活動をされてきた奥野博士にお話いただきます。みなさま、是非ご参加ください。

開催日時 6月20日(日) 午後6時～8時
(午後5時30分開場)

開催場所 南三陸町自然環境活用センター

自然環境活用センター ☎25-9703

広報担当からのお知らせ

この広報6月号は、5月22日現在の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、この号でお知らせしているイベントなどが中止や延期となる可能性があります。その際は、町HP、防災行政無線やフェイスブックなどでお知らせしますので、ご了承ください。



みな
しほ

南三陸ハマレ歌津 6周年記念!

4月23日(日)南三陸ハマレ歌津で6周年記念イベントが開催されました。当日は、綿あめ、焼き鳥などの出店のほか、ホヤの販売も行われ、町内外から多くの人々が訪れ、買い物を楽しんでいました。

この他にもステージでは、音楽グループの演奏やキッズクラブのダンスも披露され、来場者は素敵な演奏に耳を傾けていました。

また、今回の6周年記念に合わせて整備を進めてきました「南三陸ハマレ広場」のオープニングセレモニーも執り行われ、セレモニー終了後には、エア遊具「ふわふわドーム」や複合遊具で楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿が見られました。

この「ふわふわドーム」の利用時間は、午前8時30分から午後5時までとなっており、「2つ山のふわふわドーム」の対象年齢は3歳から6歳まで、「3つ山のふわふわドーム」の対象年齢は6歳から12歳まで(小学生まで)となっています。



晴天の下 賑わう潮騒祭り



5月3日(水)から5日(金)の3日間、神割崎キャンプ場で第8回潮騒祭りが開催されました。

南三陸町や石巻市の飲食店などが出店するゴールデンウィーク恒例のお祭り。

飲食ブースでは地元の生産者が新鮮な海の幸を提供し、特設ステージでは日替わりでのステージショーも開催されました。

約20店舗ほどが並び、海産物の串焼きや焼きそば、ホタテなどの販売が行われ、町内外問わず大勢の家族連れで賑わっていました。

来館者10万人! 南三陸311メモリアル



5月6日(土)南三陸311メモリアルの来場者数が10万人を達成し、記念セレモニーが開催されました。

記念すべき10万人目となったのは、栃木県矢板市からお越しになった塚田さん家族4人と横山さん家族3人の計7人。塚田さんは「子どもたちに自然災害の恐ろしさを学んでもらい、これから生きていく上での知恵となれば嬉しい。」と話してくれました。

また、10万人目の記念品として、南三陸町観光協会及川会長から町海産物の缶詰などの災害用備蓄品やお菓子がプレゼントされました。